

2024年度
小論文
(公募制)

2023年11月19日実施
獣医学部 動物資源科学科

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【注 意 事 項】

1. 試験監督(試験開始)の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題冊子は1ページから3ページまであります。
4. 試験監督の指示により、問題冊子と解答用紙に**受験番号**および**氏名**を記入しなさい。
5. 試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて試験監督に知らせなさい。
6. 試験終了後、問題冊子と解答用紙はともに机上に置いておくこと。持ち帰ってはいけません。

(余 白)

以下の文章を読み、設問に答えなさい。

アニマルウェルフェア(動物福祉)という言葉がある。主に家畜の扱いに関係し、動物愛護より広い対象を含む、欧州発の考えである。

ペットの暮らしの質には、日本でも近年関心が高まっている。保健所での殺処分を減らす、地域猫を不妊手術して適切な環境で暮らせるようにする、ペットショップでの幼体販売に規制を行うなど、様々な試みがなされている。また、「生き物を愛玩目的で売買する」こと自体に抵抗感を持つ人も増えている。

これに対して家畜については、日本ではとても関心が低い。いかに家畜がモノのように扱われているかは、鳥や豚にインフルエンザが流行した際の殺処分数から分かる。今シーズンの鳥インフルによる殺処分はすでに1千万羽を超えた。鶏たちは主に炭酸ガスで殺されるが、報道では鶏の命への配慮より、鶏肉や卵の価格上昇への懸念が語られている。

人間にたとえるなら、新型コロナ患者が出た集合住宅の全住人をガス室送りにするようなものだ。さらに、資源としての卵や鶏肉の価格上昇を真っ先に心配するなど、まるで工場の商品や原料が品薄になったときのような物言いだ。

(出典 朝日新聞 2023年2月16日 朝刊 東京)

重田園江「政治季評 アニマルウェルフェア 命の商品化、直視すべきだ」

設問

筆者はアニマルウェルフェアの対象として「家畜については、日本ではとても関心が低い」と述べています。あなた自身はその筆者の見方に同意しますか？それとも同意しませんか？理由とともにあなたの意見を800字以内で述べなさい。